

地域の風がいきかう学校づくり

大野市有終西小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	10回(のべ) 10日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	36人
授業ボランティア(含:低ボラ)	18人
登下校支援ボランティア	1,909人
その他(読み聞かせ・ブックコート)	331人

(3) 特色ある活動

キャリア教育

具体的活動内容

「地域の達人の生き方に学ぶ」(ふるさとのよさを見つめ直すキャリア教育)

毎年6年生は、総合的な学習の一環として、身近な地域の方からご自分の仕事についてお話をしていただくと共に、実際にその達人の技を実体験することで、達人の生き様を学ぶ学習を行っている。今年度は、以下のことを実施した。

- ・「畳作りの達人」からは、実際に畳作りの道具を示しながら、畳職人には資格は入らないが修業の大変さなど、仕事に対しての苦労や喜びなどを話していただいた。
- ・「美容師の達人」からは、この職業を選んだきっかけや資格を取るまでの大変さなどについて、髪の毛のセットを実演しながら話していただいた。
- ・「図書館の本に関する達人」からは、図書館の本がどのように分類されているか、また、実際に傷んだ本や貴重な本の修復の仕方について、体験談を交えながら話していただいた。
- ・「けんけら作りの達人」からは、160年も同じ味を守り続ける訳とその厳しさについて話していただくと共に、けんけらづくりを体験させていただいた。
- ・「フランス料理の達人」からは、大野でフランス料理を始めた理由や一人前の料理人になるまでの厳しい修業のことを話していただくと共に、実際にフランス料理「サーモンのムニエル」の調理をご指導いただいた。



畳作りの達人



けんけら作りの達人

このように、本校区の保護者や身近な地域の達人から直接学ぶことで、学校に地域の風が吹き込み、普段見過ごしがちである身近な人や場所に対して新しい発見があり、自分たちの地域や故郷を愛する心が育まれていく。また、地域の達人の生き様に触れることで、子どもたちは、仕事をする(社会人として働く)ことの楽しさや厳しさ、喜びや生き甲斐など、いろいろなことを学んでいる。さらに、夢を実現させるための努力と夢を持ち続けることの大切さも感じていたようだ。まさに、生きたキャリア教育である。

成果と課題

「地域の達人の生き方を学ぶ」では、本年度実施していないが、今までに「着物の達人」「お茶の達人」「墨絵の達人」「絵手紙の達人」なども行ってきた。これは、社会教育機関との複合施設である本校の特色を活かして、「地域を学ぶ学校づくり」「地域と共に活動する学校づくり」「地域の知恵を活かす学校づくり」をモットーに実践してきた成果である。しかし、地域の風を学校に吹き込ますだけでなく、学校から地域に出て、地域のニーズにあった活動を取入れるなどして、もっと双方向的な連携を図っていく必要がある。学校だよりの発行や学校生活支援ボランティアやスポーツ少年団との連絡会などを通して、情報の共有化を図ると共に、双方向的な教育を推進していくことが大切である。

また、本校では「地域の風がいきかう学校づくり推進協議会（地域・学校協議会）」の委員を2年ごとに委嘱しているが、本年度は、委員の構成のあり方から見直し、幅広い方面から委員の一新を図った。年齢層も若くなり、学校とは直接かかわりが少ない第3者的な立場の方も増え、活発な意見が交換され、協議会に「新しい風」が吹き込んできた。